

巻頭言	1	青技交卒業。そして、ミライ研2期目へ。 技術士(建設/総合技術監理部門)/CPD認定会員/社会活動委員会/技術者のミライ研究委員会 代表	小澤 正 志
特集	2	「道の駅」の“これまで”と“これから” ～特集をはじめるとあたって～	松田 泰 明
報告	9	静岡県の防災対策を視察して(1) ～大規模災害への備え～ 技術士(建設/総合技術監理部門)/防災委員会 副委員長/水工部会 技術士(建設/総合技術監理部門)/防災委員会 都市部会幹事	渡辺 敏 也 前田 研 治
	13	リージョナルステート研究委員会 平成30年度第3回研修会の報告 ブラックアウトを経験して、災害時に威力を発揮した独立分散電源 ～地中熱利用とZEB(ネット・ゼロ・エネルギービル)の可能性について～ 技術士(建設/総合技術監理部門)/リージョナルステート研究委員会 代表/水素・循環システム研究分科会 座長	滝澤 嘉 史
	17	北海道水素地域づくりプラットフォーム 平成30年度第2回会合の参加報告 電力の安定供給と再生可能エネルギー・水素スマートシティ神戸構想の推進 リージョナルステート研究委員会 副代表/地域主権分科会 幹事長/防災委員会都市部会/防災委員会防災教育WG	中田 光 治
	21	北海道スタンダード研究委員会 第19回勉強会 アジア諸国の人材と日本・北海道の可能性 技術士(建設/総合技術監理部門)	丹治 和 博
	25	第38回 地域産学官と技術士との合同セミナー 超スマート社会(Society5.0)へ向けて、技術士が果たすべき役割を考える —人工知能(AI)が創る未来について— 技術士(機械部門)/事業委員会	青木 信 成
	29	技術者のミライ研究委員会 平成30年度(設立2年目)の活動報告(総括) 技術士(建設/環境部門)/技術者のミライ研究委員会 幹事長 技術士(建設部門)/技術者のミライ研究委員会 幹事	木本 光 則 千葉 裕 裕
	33	技術士1次試験に合格して 相垣真奈美(情報工学) 虎谷 康功(衛生工学部門) 関矢 顕範(建設部門) 森本 千誠(金属部門)	
	37	技術士2次試験に合格して 大友 浩一(金属部門) 伊藤 直也(建設部門) 定免 純司(建設部門) 岩瀬 聡(森林部門) 植田 琢也(農業部門) 高川 浩仁(機械部門)	
私のプロジェクトX	43	私のプロジェクトX 技術士(建設部門)	斎藤 和 夫
寄稿文	48	生ごみ処理について 技術士(森林部門)	峯村 伸 哉
会員のひろば	52	私のお勧めコーナー 糠平温泉郷 技術士(建設/総合技術監理部門)	佐藤 厚 子

エンジニアパーク	54	(建設部門) 西田 光 (建設部門) 佐藤 勉
	55	(建設部門) 中村 信哉 (建設部門) 次村 英毅
	56	(建設部門) 奈良 俊介 (建設部門) 金子 昇平
	57	(建設部門) 山本 知幸 (建設部門/総合技術監理部門) 松岡 雄一

58	活動レポート
78	統括本部報告
83	行事予定
84	訃報
84	編集後記

表紙写真：○タイトル
「道北の夕暮れ」
○撮影者
本間 英敏
○撮影場所
豊富町

コンサルタンツ北海道 ご投稿のお願い

広報委員会では会誌「コンサルタンツ北海道」を通じて、会員相互の親睦を深めて参りたいと考えております。会員の皆様からの投稿は随時受け付けておりますので、お気軽に広報委員会までお問い合わせください。

問い合わせ先 〒004-8585 札幌市厚別区厚別中央1条5丁目4-1 (Docon 新札幌ビル)
公益社団法人 日本技術士会北海道本部
TEL011-801-1617 FAX011-801-1618 広報委員会直通メール:kouhou@ipej-hokkaido.jp

投稿テーマ

- 【寄稿文】 会員の研究成果、報告、所見・随想など自由な報文を募集しています
【Air Mail to Hokkaido】 海外業務・視察、または海外に関する情報・報告等を募集しております
【その他】 ①表紙写真(季節感のある風景など)
②会員の著書紹介
③各種技術士グループ、プロジェクトの紹介など
その他ユニークな企画等ありましたらご意見をお寄せください

投稿要領の概要

- ①原稿ファイル(CD、又はDVD)と紙面出力の両方、若しくは電子ファイル(原稿ファイルと、フォント確認のためのPDFファイル)をお送りください。(メディアの返却が必要な方はご連絡ください)
- ②顔写真は縦横40mm×35mmの写真又はJPEGファイルを送りください。
- ③使用ソフトは、MS-Word 又は一太郎を基本とします。
- ④詳細な投稿の手引き、原稿作成要領については北海道本部ホームページの「会員・会友のページ」に掲載しておりますのでご参照ください。(http://www.ipej-hokkaido.jp/kaiin/kikoonagai.htm)

共通事項

1. 内容について

- ①日本技術士会北海道本部(以下、「本部」という。)の会誌としての性格や、道内の主要な国の機関、自治体、大学、マスコミ等に寄贈していることを考えて、記事は有益な情報、資料及び見識ある内容として、理解できるものでなければなりません。
- ②印刷物としては未発表のものでなければなりません。ただし、口頭発表の際、配布された講演要旨などの印刷物は未発表と見なします。
- ③投稿内容は、広報委員会(以下、「当委員会」という)内規に従い、当委員会が内容を確認し、場合によっては加除又は修正をお願いする場合があります。特に、以下の条項に該当するような場合は、原稿の掲載をお断りする場合があります。
 - ・公序良俗に反すると当委員会が判断したもの
 - ・極めて専門的な技術論文に相当し、広報誌に馴染まないもの
 - ・学会等に投稿して査読を経なければ、内容の妥当性について責任を持ってないもの
 - ・引用の出典が明らかでないもの

④会誌に掲載された記事の著作権は、本部に帰属します。

2. 著者(連名の場合は1名以上)は本部会員または会友であることを要します。なお、原稿とあわせて著者名(ふりがな)、部門名、Eメールアドレス、電話番号等の連絡先を必ずご記入ください。
3. 原稿の掲載時期は当委員会で決定致します。
4. 文中に引用図表、写真等原著者の了解が必要なものは、投稿者の責任において転載許可を取得して下さい。その際に発生する経費は投稿者負担とします。